

鼻咽頭・鼻腔ぬぐい液の検体採取手順

① 検体スピッツの氏名と受検者を2人で確認する。

② 検体採取場所の準備

検体採取後に廃棄しないものは、汚染を避ける位置に配置する。



- ・ テーブル等に準備物を配置
スワブ、スピッツ立て、アルコールスプレー、ハサミ
トレイ、ペーパータオル、手袋、マスク予備
- ・ 感染性廃棄物を入れるゴミ箱（ポリ袋二重かぶせる）

③ 検体採取者、介助者は個人防護具を装着する。

〔長袖ガウン、手袋2重、キャップ、マスク、フェイスシールド〕

④ 検査介助者は、スピッツ立てにスピッツのフタを開けて準備をする。

※採取前のスピッツと採取後の検体スピッツが混在しないよう注意。

⑤ 検体を採取する。採取者は、汚染防止のため検体採取毎に手指消毒をする。

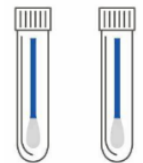
※外側手袋を交換するときは、内側手袋のアルコール消毒を行う。



採取者は検査者の正面には立たない！



スピッツに入らないスワブの軸をハサミで切る



⑥ 検体採取後、スワブをスピッツに入れ下記（口のどちらか）の処理をする。

□介助者が、スピッツに入らないスワブの軸をハサミで切り蓋を閉める。

※ハサミは、検体毎に新しいハサミに代える。もしくは、アルコールで浸したペーパータオルで消毒する。必ずハサミは乾燥した状態で使用する。

⑦ スピッツの蓋がしっかりと閉まっているのを確認し、アルコールを浸したペーパータオルでスピッツを消毒する。

裏面続く

*****全員の検体採取 終了*****

⑧ 個人防御具を脱衣

防護具の汚染側に触れないように注意して脱衣する。

脱衣の際は、何かを脱ぐ度にアルコール消毒する。

※手指が汚染されたかも？という時は、慌てずしっかり手指消毒！

⑨ 新しいマスクと手袋を装着（1枚でOK）し、検体の保管と検体採取場所の片付け、汚染の恐れがあるテーブル等をアルコール消毒する。

⑩ ゴミの片付け

汚染されたものは感染性廃棄物として取り扱う。二重のポリ袋に密閉して、規定の廃棄ルールに従う。

ハサミなど再度利用する物品は、アルコール消毒後に乾燥させておく。

※ 採取後の検体は冷蔵保存（4℃）する